

今日は黙示録5:1-7から「巻物を受け取る子羊」と題して3つの点でみことばを取り次ぎます。

1. 七つの封印で閉じられた巻物 1-4

4章では、ヨハネは天に上り、御座に座しておられる父なる神と、4つの生き物と24人の長老たちが神を礼拝している情景を見ました。今日の5章では、父なる神から巻物を受け取った子羊イエスが、天で礼拝される出来事が記されています。今日は前半の子羊が巻物を受け取るまでを見、来週は後半の天における子羊の礼拝を見ます。

「1 また私は、御座に着いておられる方の右の手に巻物を見た。それは内側にも外側にも字が書かれていて、七つの封印で封じられていた。」ヨハネは天の御座に着いておられる方、即ち父なる神の右の手に巻物を見ました。右の手は神の権威を表します。巻物はギリシャ語でビブリオと言い、英語のバイブルの語源です。聖書は元々66の巻物、ビブリオでした。それが一冊の本、すなわち聖書、バイブルとなったのです。聖書は、神がご自身と神のみこころを私たちに教える本の中の本、神のことばです。

さてヨハネが見た巻物には、内側にも外側にも字が書かれていました。この巻物にはこれから未来に起こることが詳細に書かれています。また、この巻物は7つの封印で閉じられていました。当時、重要な巻物は受取人以外が開いて見ることがないように、ひもで縛った後、ろうで固め、印章を押して封印しました。7は完全数ですので、7つの封印で封じられていたとは、神のみこころにかなう者以外は誰も開くことができないように、完全に閉じられていたということです。

「2 また私は、一人の強い御使いが『巻物を開き、封印を解くのにふさわしい者はだれか』と大声で告げているのを見た。」ヨハネが父なる神の右の手にある巻物を見ていると、一人の強い御使いが「巻物を開き、封印を解くのにふさわしい者はだれか」と大声で告げているのを見ました。

「3 しかし、天でも地でも地の下でも、だれ一人その巻物を開くことのできる者、見ることのできる者はいなかった。」「天でも地でも地の下でも」とは、神が造られた世界とそこに生きるすべての被造物です。しかし、だれも巻物を開いて見ることのできる者はいませんでした。この巻物に書かれているこれから起こる神の計画は、神の御手の中に完全に隠されており、私たち人間が自分の知恵や能力で知ることは決してできません。

「4 私は激しく泣いた。その巻物を開くにも、見るにも、ふさわしい者がだれも見つからなかったからである。」ヨハネは巻物をだれも開いて見ることができないのを知って、激しく泣きました。ヨハネは罪に汚れた人間も、人間の罪の影響を受けた他の被造物も、巻物を開いて見ることができない者がだれもないという現実に向き合ったのです。

ヨハネは4:1でイエスから「ここに上れ。この後必ず起こることを、あなたに示そう」と言われて、天に引き上げられました。ヨハネは神の右の手にある巻物に、この後必ず起こることが書いてあることを知りました。その巻物が開かれなければ、この後必ず起こることをヨハネは知ることができません。ヨハネがこの時生きている現実の世界は、教会に対するローマ帝国による激しい迫害の中にあいました。ヨハネも神のことばとイエスの証しのゆえに、捕らえられ島流しとなってパトモス島にいました。ヨハネは、神の将来の計画とともに、迫害に耐えるためにも神の励ましと将来の希望を神から教えていただくことを願っていました。そしてそれらが巻物に書かれていることを知っていました。ところが人間の罪のゆえに、聖なる神の御前で巻物を開くことができる者がだれも見つからないので、彼は激しく泣いたのです。

申命記29:29には「隠されていることは、私たちの神、主のものである。しかし現わされたことは永遠に私たちと私たちの子孫のものであり、それは私たちがこのみおしえのすべてのことばを行うためである」とあります。神が現わしてくださなければ、私たち人間は神のみこころやご計画を知ることができません。神が現わされたものだけを私たちは知ることができ、それを行うようにと神に命じられます。ヨハネはこのままでは神の計画も神のくださる希望も、人間には隠されたままになってしまおうと思い、激しく泣いたのです。しかし、神はその巻物を開くことができるただ一人の人を備えてくださっていました。そのことを第2の点で見いきましょう。

2. ユダ族から出た獅子 5

5「すると、長老の一人が私に言った。『泣いてはいけません。ご覧なさい。ユダ族から出た獅子、ダビデの根が勝利したので、彼がその巻物を開き、七つの封印を解くことができます。』」4章で、神の御座の周りに24人の長老たちがいることを見ました。彼らは旧約と新約時代のすべての神の民を象徴しています。その長老の一人がヨハネに言いました。「泣いてはいけません。ご覧なさい。ユダ族から出た獅子、ダビデの根が勝利したので、彼がその巻物を開き、七つの封印を解くことができます。」「ユダ族から出た獅子」とは、創世記49章でヤコブがユダ族から救い主が出ることを預言した言葉に関係します。創世記49:9-10には「ユダは獅子の子。…王権はユダを離れず、王尺はその足の間を離れない」とあります。百獣の王ラ

イオン、獅子は権威や力のシンボルです。そのため王の権威のシンボルとして獅子が用いられます。イエスは旧約の預言どおり、ユダ族から生まれた王の王なるお方です。

また「ダビデの根」はイザヤ 11:1 の「エッサイの根株から新芽が生え、その根から若枝が出て実を結ぶ」という救い主の預言に関係します。エッサイはダビデの父であり、ダビデの子孫から救い主が生まれるのです。その通りイエスは、ユダの子孫、ダビデの子孫として生まれました。このお方が勝利したので、巻物を開き、七つの封印を解くことができますと長老の一人がヨハネに教えてくれました。この良き知らせにより、ヨハネは泣き止むことができました。

私たちの人生にも、悲しい時、つらい時、大変な時、失望した時などに泣くことがあります。ヨハネは激しく泣きました。イエスもラザロの死を皆が悲しんでいる姿を見て、「イエスは涙を流された」とあります。しかし、涙を拭く時が来ること聖書は教えています。ヨハネも「泣いてはいけません」と言われ、希望があることを教えられました。21章の新天地では4節で「神は彼らの目から涙をことごとくぬぐい取って下さる」とあります。神は、私たちに希望を与えて涙を拭く時を、地上にあってもそして永遠に天において備えてくださるのです。

3. 巻物を受け取る子羊 6-7

「6 また私は、御座と四つの生き物の真ん中、長老たちの真ん中に、屠られた姿で子羊が立っているのを見た。それは七つの角と七つの目を持っていた。その目は、全地に遣わされた神の七つの御霊であった。」ヨハネはユダ族から出た獅子を見ようとしました。するとその姿は獅子ではなく、子羊でした。イエスが獅子と呼ばれるのは黙示録ではこの箇所1回だけです。それに対して子羊と呼ばれるのは28回です。ヨハネはこの時、子羊が屠られた姿で立っているのを見ました。これはイエスが十字架で死んでよみがえり、父なる神の御座の真ん中におられることを表しています。

子羊は旧約時代、人間の罪を贖うために、罪人に代わって屠られ、神にささげられた動物です。バプテスマのヨハネはイエスを最初に見た時に言いました。「見よ、世の罪を取り除く神の子羊。」イエスは、人間の罪を完全に赦すために、ご自分が世の罪を取り除く神の子羊となって、十字架で死に、罪の贖いを成し遂げてくださいました。そして3日目によみがえり、罪と死に対して勝利して、天に上られました。屠られた姿で立っているとは、よみがえられたイエスの手と足には十字架につけられた傷跡が今も残っていることを意味しています。それは2000年前に屠られて、成し遂げられた罪の贖いは、今も信じる者に与えられるということです。さらにイエスはほふられて死んだままではなく、天において立っている、即ち生きておられるのです。ですから、私たちは今も生きておられるイエスを自分の救い主と信じる時、イエスの十字架の贖いによってすべての罪が赦されるのです。5節の「ユダ族から出た獅子、ダビデの根が勝利した」の勝利とは、イエスの十字架の死によって、私たちのために罪の贖いを完全に成し遂げられたこと、さらに復活によって死に勝利されたことです。

子羊イエスは7つの角と7つの目を持っていました。角は力と権威を表しています。7は完全数なので、イエスは完全な力と権威を持っておられる全能の神だということです。また7つの目は「全地に遣わされた神の七つの御霊」です。聖霊は2-3章で7つの教会に語られました。7つの教会は全地の諸教会を表しています。聖霊は父なる神と子なる神イエスとともにおられます。そして、今日も聖書によって私たちに語られます。「耳のある者は、御霊が諸教会に告げることを聞きなさい」とイエスは言われました。私たちも聖書によって語られる御霊の声を、信仰の耳をもって聞きましょう。

「7 子羊は来て、御座に着いておられる方の右の手から巻物を受け取った。」子羊イエスは、御座に着いておられる父なる神の右の手から、巻物を受け取りました。イエスこそ巻物を開き、七つの封印を解き、神の御計画を見て、ヨハネにそしてすべての人に知らせるのにふさわしいお方です。6章からイエスは7つの封印を一つ一つ解いていけます。来週は巻物を受け取ったイエスを天で礼拝する光景を見ます。

私たちの罪を贖うために屠られ、よみがえられ、巻物を受け取られたイエスだけが、今もそして将来の歴史も支配しておられます。ヨハネの時代の地上の権威はローマ皇帝にありました。人々はローマ皇帝を礼拝し、皇帝は軍事力によって人々を支配しました。その結果、クリスチャンは迫害にあつて苦しみました。けれども目を天に向けると、イエスがこの世界を今も将来も支配しておられるのです。そればかりか、私たち一人ひとりの人生と日々の生活も支配しておられます。

私は毎日英語の日めくりみことばカードを読んでいきます。表にはみことば、裏には励ましのことばがあります。そこには時々 "He is in control" 彼が支配しておられるとあります。この言葉にいつも励まされています。主が今日も私の人生を支配し、一番良いようにコントロールしておられる。だから主に信頼し、主にゆだねていけばいいんだと励まされるのです。歴史を支配し、私たち一人ひとりの人生を支配しておられるイエスは、今日も父なる神の御前で屠られた姿で立っておられます。このイエスが聖霊を私たちに遣わし、私たちの人生を導いておられます。ですから、私たちはイエスに信頼し、イエスに人生のハンドルを任せ、イエスに従って歩んでいきましょう。

